

美麻い〜とこ よつとくれフェア開催事業



平成19年度 地域発元気づくり支援金事業

美麻地域づくり会議とは

- 平成16年

合併したら美麻は**どうなる**？ **どうする**？

※住民有志が中心となり住民自治による地域自治組織を検討

- 平成18年1月 合併と同時に発足予定が発足できず・・・
- 平成18年5月 美麻地域づくり会議が発足
団体会員45、個人会員4で構成(平成20年8月1日現在)

事業申請時の地域課題

- (1) 地域づくり活動への参加者を増やすこと .
- (2) 過疎、高齢化の進展に伴う遊休荒廃地の増加
- (3) 地域活性化のための特産品、普及・開発 .



これらを解決する事業を実施しよう



地域発 元気づくり支援金へ応募しよう！

事業内容（申請当初→会員からの提案→話し合い→変更→実施）

（１）「道の駅 ぼかぼかランド美麻」での“美麻い〜とこよっとくれフェア”の開催

農産物販売所、農協直売所、ぼかぼかランド美麻が一体となった美麻の特産品販売促進フェアの開催。PR用のぼり旗の製作など。

・開催回数を増加

当初予定の3回に加え、会員の提案から国際交流事業のイベント(7月)と地区文化祭(10月)もイベントに加え5回開催することに。

（２）特産品（なたね、エゴマ、ヒマワリ）の普及

菜の花生産組合と協力して、作付け面積の拡大を図り、遊休荒廃地の減少や景観保全を目指す。

・地域全体で取り組めるように、公民館と共催してひまわりコンテストを開催、し、地区全戸に10粒のヒマワリの種を配布して、各家庭の庭や遊休荒廃農地に蒔いてもらう。

（３）主要幹線道路沿線の景観保全

自治会、老人クラブ等に花苗、プランターを提供し幹線道路沿いに植えてもらう。

・生育、収穫したヒマワリを、写真、絵画、高さ、収穫量、料理レシピなど部門で、コンテストを開催

※当初の申請内容を計画どおり実施するよりも、

提案や意見を取り入れて、積極的に参加してくれる人を増やすことが、地域課題の解決につながると判断し、内容の見直しをすることに。

事業内容と工夫した点

● 美麻い〜とこよっとくれフェア (5回開催)

①春のフェア (5/3、5/4)



当初予定の特産品販売促進フェアに加え、
 ・菜の花のプレゼント(しずかの桜環境を守る会)
 ・観光案内用の絵地図の配布
 20年前にあった絵地図を現代版に復刻して、
 印刷して配布。(2日で印刷した300枚が終了)



②クラフトと国際交流フェア (7/7)



大町市の姉妹都市アメリカ・メンドシーノからの
 訪問団と地域の交流イベントを広く一般参加で
 できるイベントとして開催。
 ・市内のボランティアグループ、クラフト作家など、
 会員以外の参加も得て開催。



英語絵本を持って
 交流に来てくれた
 「ことばの森」の皆さん。

事業内容と工夫した点

● 美麻い～とこよっとくれフェア (5回開催)

③夏のフェア (8/12)



春のイベントで地元の参加者が少なかったため、子供たちが楽しめる企画として、“マスのつかみ取り大会”と“おもちゃの金魚すくい”をメインに開催。企画内容は、会員からの提案で決定しました。

④秋のフェア (10/14)



北アルプスおやき恋訪ふれあい広場と共催してのイベント。食事券の当たる道の駅アンケートの実施や美麻絵地図の配布を実施。

⑤美麻地区文化祭のフェア (10/27、10/28) については後ほど、

事業内容と工夫した点

- 宣伝用の旗



4月に指定管理者等が、大量のモモタロウ旗を設置したため、屋外に設置しても効果があるだろうか？



屋内でも使用できる壁に貼れるタイプに変更。
デザインは、絵地図の図柄と同じものとした。
道の駅をはじめ地区内の事業所が連携できるPR用の旗として製作。

- 美麻絵地図

観光案内用絵地図が好評で増刷する必要がある...



配布する地図だけではもったいない



美麻地区の特性を生かして
宣伝効果のある地図にしよう！

(その1)

(その2)次ページへ

事業内容と工夫した点

美麻地区の特性を考えてみました。

- ①移住者が多い(世帯の30%以上、市民農園を加えると過半数)→『移り住む人が多い』
- ②過疎などで、多くの人転出している。→『美麻に縁のある人が各地にいる』



全国各地に親戚や友人が多い地域では？



市外への贈答の機会も多いだろう



絵地図柄の包装紙として制作しよう




事業内容と工夫した点

● 美麻からのプレゼントdePR大作戦！


お歳暮からクリスマスの時期に合わせて、キャンペーンを展開。

美麻からの
プレゼント DE PR 大作戦
の参加者を募集中！

～ サイズは大と小の2種類 ～



(大は、72cm×53cm)



(小は、53cm×36cm)

壁に貼って、
絵地図にするとか、
使い方のアイデア
も募集中


ご協力いただける方は、別紙申込書にご記入ください。

※ 枚数は、1セット「大2枚、小5枚」です。

それより多く協力いただける方は、必要枚数を記入してください。


※ お急ぎの場合は、電話でお申込みください。

- 参加方法はカンタン -




①包装紙を

⇒



②はずして、

⇒



③美麻の包装紙に
します。

④あとは贈るだけです！

・イベント会場での使用に加えて、地区内の飲食店、商店などで使用いただくことで、統一的な観光宣伝を展開。

・秋のフェアの開催に合わせて、大町市で実施した「ぐるっとそば処スタンプラリー」の美麻地区内の加盟店に使用してもらう。

・地区内より参加者を募り、年末年始の家庭からの贈答品の包装紙に使用いただくキャンペーンに360人が参加。

※計算では、2500個以上のプレゼントが絵地図包装紙で贈られたことになります。

事業内容と工夫した点

● **ひまわりコンテストの開催** (特産品普及と遊休荒廃地減少事業)

- ・地区全体で、お手軽に楽しく取り組める事業として実施
- ・美麻公民館との共催 地区内の市民農園を含む全戸に10粒の種を配布(希望者には追加配布)
- ・ヒマワリは、菜の花生産組合の使用している搾油できる品種
- ・10月の地区文化祭までの長期のプログラム

地区では、ひまわり油は知っているが、食したことのある人は少ない。

- ・商品(参加賞、入賞)はすべて収穫した種から搾油した「ひまわり油」



特産品の作付け拡大、普及啓発、地産地消、景観形成を一度に実施！



●収穫方法の講習会も開催



●エゴマの作付けもしてもらいました。

事業内容と工夫した点

- **ひまわりコンテストの開催** (特産品普及と遊休荒廃地減少事業)
- ⑤ **美麻い~とこよっとくれフェア in美麻地区文化祭** (10/27, 10/28)



コンテストで集まった
ひまわりの種収穫量
当てクイズ



普及啓発用に製作し
たひまわり油の小瓶
は、参加者全員の食
卓へ



ひまわりコンテストは、テレビ番組で放送されました。
(NHK長野放送局 11/9「知るしん」、
11/23「みんなのスタジオプラザN」で放送)



ひまわりコンテストの表彰式
子どもからお年寄りまで幅広い
参加がありました。



10品以上も寄せられた
種を使った料理の試食会
は、5分で完食！

事業効果



- **数値で表せるもの**

- ① **美麻い~とこよっとくれフェア**

- ・延べ500人以上(30以上の団体と個人)が企画運営に参加
 - ・イベント来場者 5回で1600人(①200、②200、③300、④400、⑤500人)

- ② **ひまわりコンテスト**

- ・遊休荒廃地減少と作付け拡大ひまわり:96箇所(30a)、えごま:20a
 - ・テレビ番組で2回取り上げられ放送された。

- ③ **美麻からのプレゼントdePR大作戦**

- ・360人が参加して、2500以上のプレゼントで地域のPRができた。

- **数値で表せないもの**

- ④ 「地域づくり」=「よくわからない」のイメージが、「**気軽に参加できる楽しいこと**」に変化。子どもからお年寄りまでの幅広い参加が得られ、地域づくりへの関心の高まりが感じられた。

今後の取組み



- **道の駅活性化事業**

「誘客イベント(外向け)」と「地域活性化イベント(内向け)」を有機的に結びつけ、定期的を実施していく。

- **遊休荒廃地減少事業**

実績を活かしての計画的な減少と景観形成に努める。

収穫された種の特産品としての有効活用(商品開発や販路の開拓)に取り組んでいきたい。

終わり

ありがとうございました。